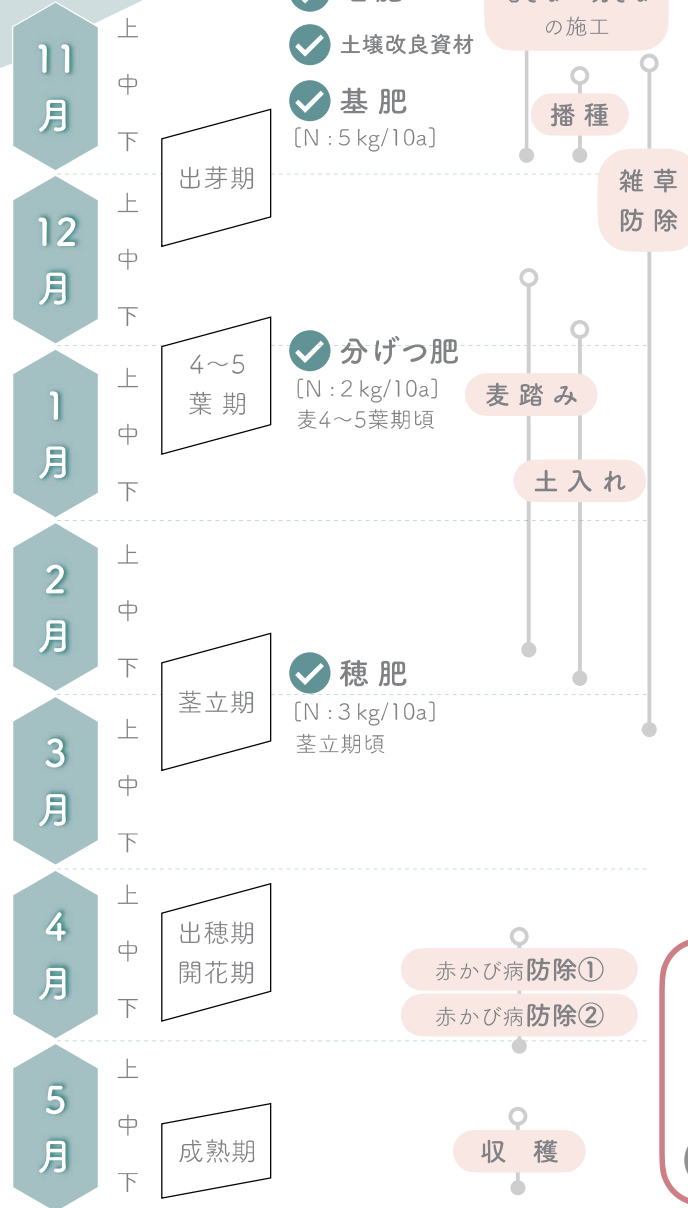


はだか麦

「ハルアカネ」

栽培暦



播種前の準備

- 「豊作のまず手はじめは土づくり」です！
- ・土壌診断とpH適正化
- ・暗きよ・明きよの施工
- ・種子消毒の実施

播種

- 畝立て播種で行う
- 播種期：11月中下旬
- 播種量：7~8kg/10a(条播)

雑草防除

- 時期・草種に応じて除草剤を選定

麦踏み

- 3葉期～茎立期までに2~3回実施する(暖冬年は多めに)

土入れ

- 追肥後に実施

赤かび病防除

- 1回目：開花始
- 2回目：1回目+1週間後

収穫

- 適期収穫を心がける
- 早刈り(硝子粒増加)や遅刈り(倒伏・ヤケ粒等増加)により品質低下



くわしい品種特性は農研機構HPをチェック！

ハルアカネ 農研機構

はだか麦「ハルアカネ」栽培のポイント

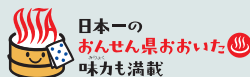
2021/03 ver.



農研機構 西日本農業研究センターで育成された耐倒伏性にすぐれる新品種「ハルアカネ」が大分県のはだか麦認定品種へ採用されました。

発行元

大分県農林水産部 水田畑地化・集落営農課 (TEL:097-506-3596)
大分県農林水産研究指導センター水田農業グループ (TEL:0978-37-1160)



「ハルアカネ」の特性

*現行品種「トヨノカゼ」との比較

生育

- ① 出穂期は同日、**成熟期は3日早い**
- ② 穂数は同程度で、**穂長は長い**
- ③ 稈質が強く、**耐倒伏性にすぐれる**

収量

- ④ 収量は**安定してやや多収**
- ⑤ **千粒重はやや重く、容積重は同程度**

品質

- ⑥ 粒はやや大きい**が、粒厚はやや薄い**
- ⑦ 検査等級は同程度、**ヤケ粒の発生はやや少ない**

成熟期の倒伏程度



ハルアカネ トヨノカゼ

穂



ハルアカネ トヨノカゼ

穀粒



ハルアカネ トヨノカゼ

表. 調査データ (水田農業グループ、標準播・条播)

品種名	出穂期 月日	成熟期 月日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	倒伏 程度 (0-5)	子実重 kg/10a	容積重 g/L	千粒重 g	品質		
										概評 (1-6)	検査 等級 (1-5)	ヤケ粒 発生程度 (0-5)
ハルアカネ	4月2日	5月16日	85	6.1	362	0.9	444	865	32.8	1.8	2.1	0.6
トヨノカゼ	4月2日	5月19日	86	4.7	359	2.8	418	859	32.0	2.2	2.7	1.2
差・比	同程度	3日早い	同程度	1.4cm長い	同程度	軽い	6%多い	やや重	やや重	同程度		やや少

注1) 表中の値は、6カ年(2014~2019年播)の平均値である。播種はいずれの試験年も11月17~21日の間に行った。

注2) 倒伏、ヤケ粒の発生程度：0(無)~5(甚)。

注3) 使用ふるい：2.0mm。子実重、容積重、千粒重：水分12.5%換算値。

注4) 品質概評：1(上上),2(上下),3(中上),4(中中),5(中下),6(下)、検査等級：1(1等上)~4(2等)~5(規格外)。

「ハルアカネ」栽培のポイント

収量・品質目標 単収 350kg 以上・品質Aランク

1 土づくり

良い麦は 良い土から！まずは土づくり

pH適正化

はだか麦を酸性土壌で栽培すると著しい生育不良や減収につながる。土壌診断の結果をもとに、**土壌改良剤**を投入する。

地力向上

たい肥等を施用し、**地力の維持・向上**に努める。

2 初期生育の確保

多収の前提条件は、**適正量の生育確保**

大前提条件は、**適期播種と出芽数の確保**

出芽確保

必ず排水対策を実施する

- ① 播種の前に … **暗きよと明きよ**
- ② 播種と同時に … **畝立て播種**

播種条件

① 播種時期 **11月中下旬**

② 播種量 **7~8kg/10a** (条播)

※散播や遅播をする場合は2割程度増量

(注)遅播→減収につながる 散播や厚播→倒伏リスクが増加

3 生育制御

施肥・麦踏み・土入れで生育コントロール

施肥

基肥 分げつ肥 穂肥

5 - 2 - 3 (窒素施用量:kg/10a)

(注)圃場の地力や生育状況等に合わせて量を加減する

麦踏み

丈夫な茎を確保するために実施する

3葉期~茎立期までに2~3回程度実施し、生育が早い暖冬年や早播時は回数を増やす

土入れ

小さい茎の発生を抑え、地際からの倒伏を防ぐ
肥効を高めるために追肥後のタイミングがベスト